しただの郷学園小学校の統合　進捗説明会概要

日　時：令和８年２月 21 日（土）
時　間：午後５時開会　午後５時 45 分閉会
場　所：ウエルネスしただ
参加者数：18 人

１　市長あいさつ
（省略）

２　資料説明
～資料に沿って説明（野水教育総務課長）～

３　主な質疑

○　１点目は、飯田小学校校舎の改修工事で 8,800 万円とあるがどこをどう改修するのか。２点目は、児童クラブ受け入れは教室の面積によるとあるが飯田小学校の教室 47 ㎡では何人受入れできるのか。３点目は、特別な支援が必要な子どもには統合時どのような対応をするのか。４点目は、部会の委員構成はどのようになり、保護者の声は反映されるのか。

→（平岡教育部長、相田学校教育課長）　１点目、飯田小学校校舎の改修工事の内容は、詳細は現在詰めているところであるが、内容はコンピューター室を普通教室化する改修、特別支援教室を区切るパーティションの設置などを想定している。また、２点目の質問の回答にもなるが、児童クラブの基準は一人当たり 1.65 ㎡であり、それ以上の面積を確保するための改修なども想定している。

３点目、特別な支援が必要な子どもへの対応は、障がいの種類や程度により状況が違うため、その子どもにあった教育支援計画を作成して学習を進める。例えば、知的な障がいがある子どもには、理解に時間がかかるのでその子どもに応じたカリキュラムや時間を設定して学習を進める。また、情緒的な障がいがある子どもには、コミュニケーション能力や社会性を高める自立活動の時間を重視した特別な教育課程を組んで学習を進める。

４点目、各部会の委員は、しただの郷未来の学校設置準備委員会の委員で構成されている。準備委員会は保護者、地域及び学校のバランスをとって構成している委員会であり、その中でバランスよく意見を反映してもらいたいと考えている。

○　子どもたちは、楽しみな反面で不安が大きい。統合に併せてスクールカウンセラーを常駐させる考えはあるか。

→（相田学校教育課長）　現在、県教育委員会が週１回スクールカウンセラーを下田地域に派遣している。これとは別に、三条市教育委員会が心理専門相談員を必要に応じて学校に派遣している。今後も、子どもたちの様子を見た中で、相談できる体制は確保できると考えているが、意見については必要に応じて検討していく。

→（髙橋教育長）　子どもの支援体制は一番大切である。意欲を持って笑顔で令和 10 年４月に統合校に通えるか、また、飯田小学校の子どもたちがどのように他の学校の子どもたちを受け入れることができるのか、各小学校に頑張っていただき、各校が様々な交流をすることで仲間同士が顔見知りになり、何の障壁もなくスムーズに統合できるようにしなければならない。特別な支援が必要な子どもを含め、個々の子どもへの支援体制は県が配置する職員に加え、市が特別支援サポーター、スクールサポートスタッフ及びスクールアシスタントなどの職員を潤沢に配置し、しっかりと子どもたちを見守る必要がある。県への要望もしながら、２年間かけて体制を整える計画をしていく。

４　教育長あいさつ

（省略）